

2023年1月16日
UBE株式会社

製品別温室効果ガス排出量（GHG 排出量）データの提供開始について

UBE株式会社（社長：泉原雅人、以下「UBE」）は、株式会社 NTT データと共同で、製品別の温室効果ガス排出量（以下「GHG 排出量」）を算定するシステム（以下「本システム」）を構築しました。2023年1月16日より順次、本システムで算定した製品別の GHG 排出量のデータをお客様へ提供開始します。

UBE は、2021 年に「UBE グループ 2050 年カーボンニュートラルへの挑戦」を発表しており、自らの事業活動から排出される GHG の実質排出ゼロに挑戦するとともに、社会全体のカーボンニュートラルへの貢献を進めております。また、近年、地球環境保全やサステナビリティへの関心が一層高まっており、自社のみならず、原料調達を含むサプライチェーン、製品使用や廃棄を含めたバリューチェーン全体での環境負荷低減への取り組みが重要になっています。

本システムの導入により、UBE 製品の GHG 排出量が、迅速かつ正確にお客様へ提供されます。お客様はデータを活用することで、サプライチェーン及びバリューチェーン全体での GHG 排出量を把握し、削減に取り組むことが可能となります。

なお本システムは、宇部ケミカル工場で製造する一部製品を対象に運用を開始し、以下のとおり順次、対象製品および製造工場を拡大する予定です。

データ提供開始時期	提供データ対象期間	対象製品
2023年1月	2021年度実績	ナイロン、ファインケミカル、工業薬品（製造工場：宇部ケミカル工場）
2023年7月	2021年度実績	機能品（製造工場：宇部ケミカル工場、堺工場） 合成ゴム（製造工場：UBE エラストマー千葉工場）

※原料由来及び製品輸送由来 GHG の算出に、国立研究開発法人産業技術総合研究所 LCA 活用推進コンソーシアム事務局が提供する LCA データベース「IDEA Ver3.2」を利用しています。

【ご参考】

- UBE グループの地球環境問題への取り組み

<https://www.ube.co.jp/ube/jp/sustainability/rc/environment/issues.html#>

以上

本件に関するお問い合わせ

<ニュースリリースについてのお問い合わせ>

UBE株式会社 総務部 広報グループ

電話：03-5419-6110